



平成28年度(2016) 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター 病院研修 報告書

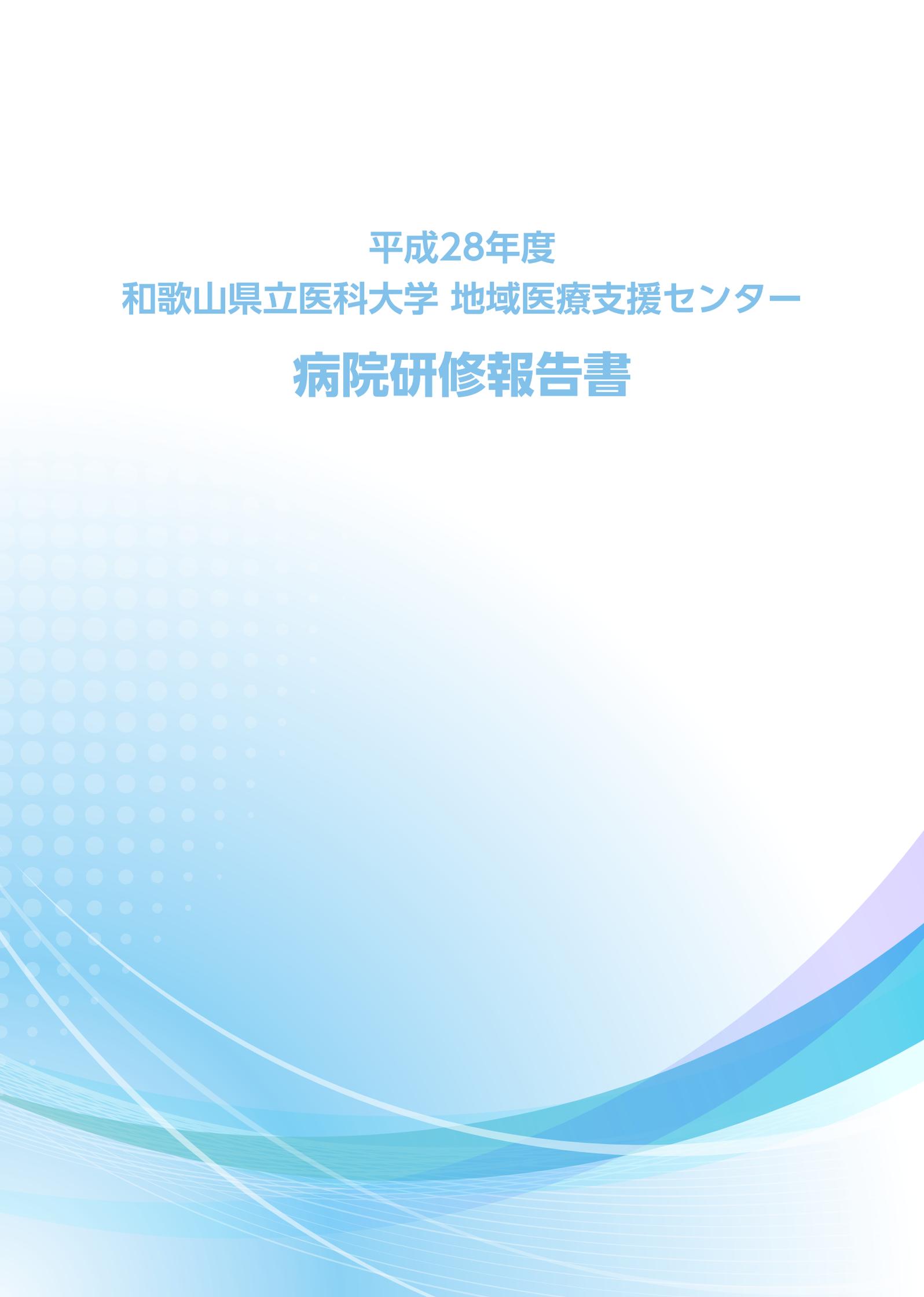


和歌山県
地域医療支援センター
C M S C
COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER

www.cmsc.jp



平成28年度
和歌山県立医科大学 地域医療支援センター
病院研修報告書





C O N T E N T S

2	ご挨拶
3	実施要項
4	病院研修スケジュール
6	研修内容
8	病院・診療所実習
26	病院見学
36	実習発表会・講演会
38	学生レポート
44	引率者からのコメント



ご挨拶

和歌山県立医科大学地域医療支援センター センター長・教授
和歌山県地域医療支援センター センター長
上野 雅巳



平成23年度から実施している夏の病院研修につきましては、平成25年度から本学医学部地域医療枠学生と和歌山県出身の自治医科大学医学部学生、また平成27年度からは近畿大学医学部和歌山県地域枠学生の研修希望者と共に合同研修という形で行うことができ、ここにご報告できますことを大変嬉しく思います。

ご協力いただきました各病院・診療所の先生方及びスタッフの方々、自治医科大学OBの先生方には心より感謝いたします。

今年度も将来、本学医学部地域医療枠学生と同じ和歌山県の地域医療に携わる自治医科大学医学部学生とが、卒業後、勤務する予定の県内各病院・診療所での研修を通して、地域医療の現状を知って理解を深めてもらうこと、学生たちが様々な手技を体験すること、また他大学・他学年との交流の場を設けることなどを目的として合同研修を実施しました。

研修内容は、本学地域医療枠1～3年生は県内紀南地域の公的病院を巡る見学バスツアー、そして地域医療枠4,5年生と自治医科大学1～5年生は共に県内公的病院・診療所などでの2日間の実習でした。

研修中に実施した交流会やグループワークを通して、学生間だけではなく、本学地域医療枠1期生の先生方や自治医科大学OBの先生方との交流を深めるとともに、先輩方からの貴重な話を聞くことができ、今後についての意識向上になったと思います。

研修終了後に実施した学生アンケートには「勤務の様子を聞かせていただき、将来、へき地で働く実感が湧いた。」「各病院の地域における役割がよく分かった。」「それぞれの異なる地域性を知り、他県の病院とも連携が大切だと思った。」「とても濃い、充実した実習を行うことができた。」「講演を聞いて、地域での診療において必要な心構えを学ぶことができ、より一層、病気ではなく人を診ることが必要だと感じた。」「学年が上がるごとに、病院研修が良い機会であると実感した。」などの感想があり、今回の研修が非常に有意義なものとなったのではと感じています。

このような合同研修や交流会を通して、学生たちが互いに刺激し合い、共に高め合い、本県の地域医療を担う立派な医師へと成長してくれることを心より願っています。

私たち地域医療支援センター教職員一同、今後も学生たちが安心して卒業後の勤務に臨めるよう、サポート体制などの環境作りに取り組んで参りたいと思います。





実施要項

●研修の目的

和歌山県立医科大学医学部地域医療卒学生と和歌山県出身の自治医科大学医学部学生、近畿大学医学部和歌山県地域卒学生が、県内へき地等の医療現場で実習・見学を行い、地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割および責任についての認識を深めることを目的とする。

●参加者

- ・和歌山県立医科大学医学部地域医療卒学生 1～6年生（32名）
※6年生は希望者のみ
- ・自治医科大学医学部学生 1～5年生（11名）

●日程

平成28年8月18日（木）、19日（金）、20日（土）
実習 18日（木）～19日（金）
見学 19日（金）



病院研修スケジュール

実習

地域医療枠4, 5年生、
自治医科大学学生

8月17日(水)

午後 [前泊組]
和歌山県立医科大学または和歌山駅に集合、借り上げタクシーで各宿泊先へ

8月18日(木)

朝 [当日出発組]
和歌山県立医科大学または和歌山駅に集合、借り上げタクシーで各実習先へ

【病院実習1日目】
9:00 各病院・診療所で実習 開始
(実習先病院・診療所)

◎高野山総合診療所	(自)中尾光	(自)額田洋平		
◎国保野上厚生総合病院	(和)宮井優	(和)西村美咲	(自)淵田祐里	(自)加藤真衣
◎にしもと内科クリニック	(自)玉置佑麻			
◎国吉、長谷毛原診療所	(和)石亀真子	(自)大谷亜理沙		
◎川上、寒川診療所	(和)深海三恵	(自)園田健留		
◎大塔三川、富里診療所	(和)野田幸治	(自)中井潤		
◎白浜はまゆう病院	(和)恩地菊乃	(和)兼久亮	(自)玉井里奈	
◎国保すさみ病院	(和)奥村晃平	(和)川村晃大	(自)山家一葉	
◎那智勝浦町立温泉病院	(和)今地美帆子	(和)大橋豪	(自)岡本恵理花	

8月19日(金)

午後 **【病院実習2日目】**
実習終了、各病院・診療所 出発

夕方 ホテル ベルヴェデーレ (すさみ町) 到着
発表用パワーポイント作成

18:40 講演会
(講演者: 川添診療所 名誉所長 中川 武正先生)

19:30 交流会

20:50 終了・宿泊 (ホテル ベルヴェデーレ)

8月20日(土) (和歌山県立医科大学学生のみ)

9:00 グループワーク

10:30 4、5年生による発表会

11:50 昼食 (BBQ)

15:30 和歌山県立医科大学に到着後解散

病院研修スケジュール **見学**

地域医療枠 1～3年生

8月19日 (金)

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 9:30 | 和歌山県立医科大学 管理棟 集合・出発<借り上げバス> |
| 11:30 | 昼食 (古道歩きの里 ちかつゆ) |
| | 【病院見学】 |
| 14:00 | 新宮市立医療センター (見学時間: 1時間40分) |
| | ↓ |
| 16:30 | くしもと町立病院 (見学時間: 1時間) |
| 18:30 | ホテル ベルヴェデーレ (すさみ町) 到着 |
| 18:40 | 講演会

(講演者: 川添診療所 名誉所長 中川 武正先生) |
| 19:30 | 交流会 |
| 20:50 | 終了・宿泊 (ホテル ベルヴェデーレ) |

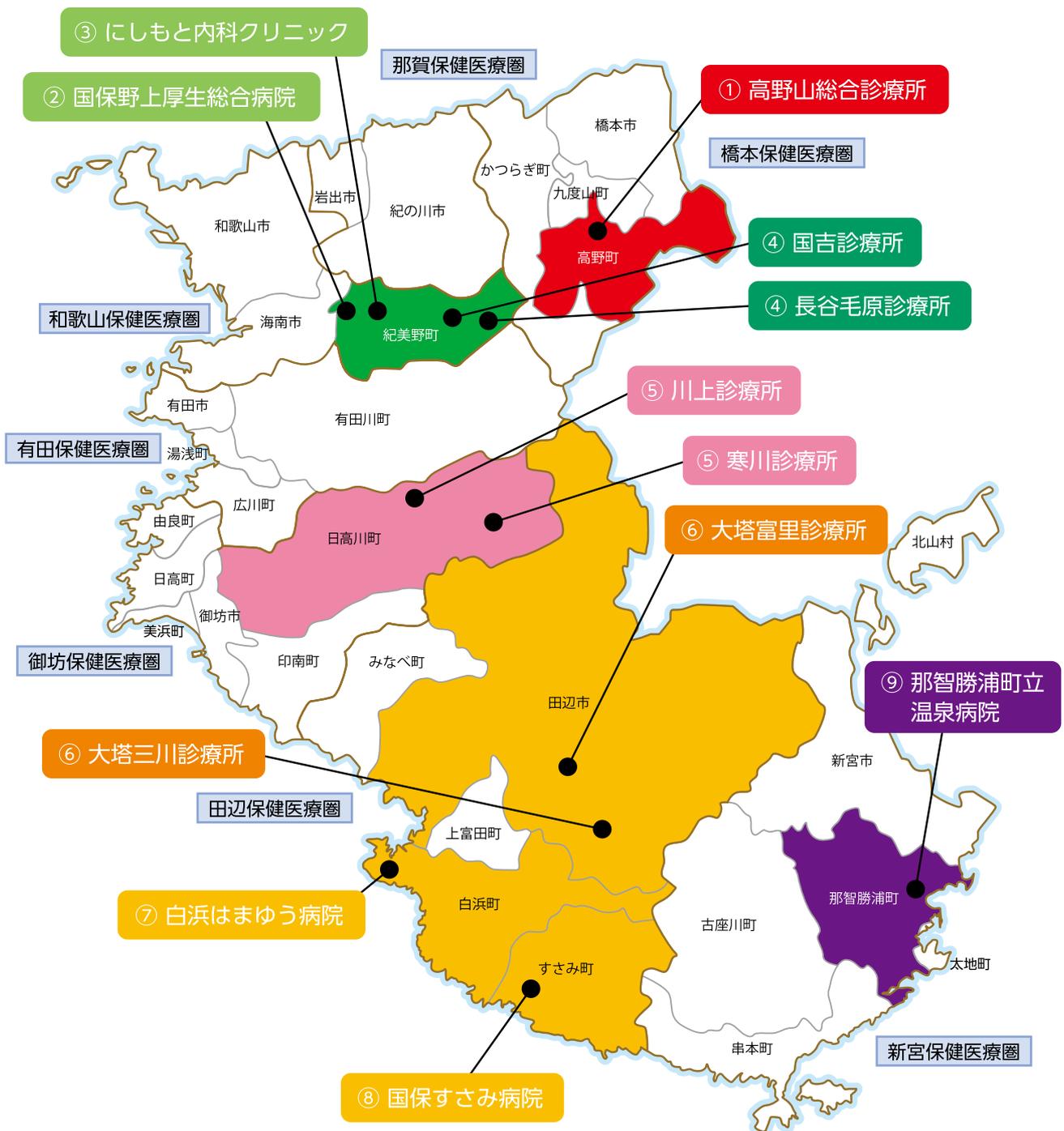
8月20日 (土) (和歌山県立医科大学学生のみ)

- | | |
|-------|-----------------|
| 9:00 | グループワーク |
| 10:30 | 4、5年生による発表会 |
| 11:50 | 昼食 (BBQ) |
| 15:30 | 和歌山県立医科大学に到着後解散 |

病院・診療所実習

和歌山県立医科大学医学部地域医療枠4、5年生
自治医科大学医学部学生

平成28年8月18日（木）、19日（金）の2日間、地域医療枠4、5年生と自治医科大学生が9グループに分かれ、各病院・診療所で実習を行いました。



参加者名簿

和歌山県立医科大学 地域医療枠

学年	氏名	実習先病院・診療所
5年生	石亀 真子	国吉診療所／長谷毛原診療所
5年生	奥村 晃平	国保すさみ病院
5年生	川村 晃大	国保すさみ病院
5年生	野田 幸治	大塔三川診療所／大塔富里診療所
5年生	深海 三恵	川上診療所／寒川診療所
4年生	今地 美帆子	那智勝浦町立温泉病院
4年生	大橋 豪	那智勝浦町立温泉病院
4年生	恩地 菊乃	白浜はまゆう病院
4年生	兼久 亮	白浜はまゆう病院
4年生	西村 美咲	国保野上厚生総合病院
4年生	宮井 優	国保野上厚生総合病院

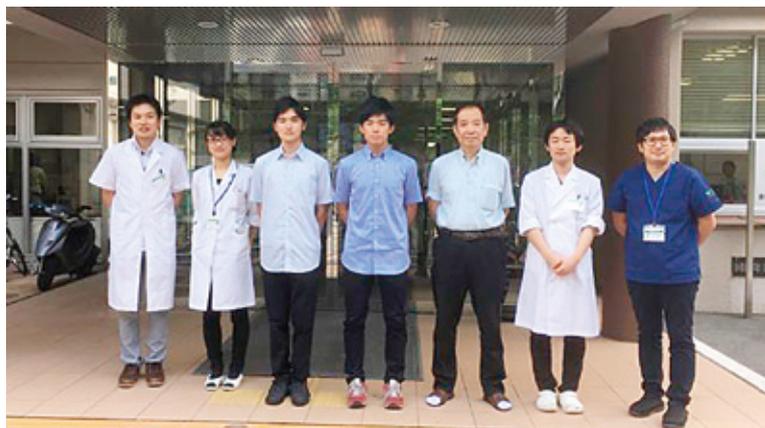
自治医科大学

学年	氏名	実習先病院・診療所
5年生	大谷 亜理沙	国吉診療所／長谷毛原診療所
5年生	淵田 祐里	国保野上厚生総合病院
4年生	加藤 真衣	国保野上厚生総合病院
4年生	中井 潤	大塔三川診療所／大塔富里診療所
3年生	玉置 佑麻	にしもと内科クリニック
3年生	山家 一葉	国保すさみ病院
2年生	岡本 恵里花	那智勝浦町立温泉病院
2年生	園田 健留	川上診療所／寒川診療所
2年生	玉井 里奈	白浜はまゆう病院
1年生	中尾 光	高野山総合診療所
1年生	額田 洋平	高野山総合診療所

1

高野山総合診療所

- 位 置 和歌山県伊都郡高野町高野山631番地
- 診療科目 内科、外科、眼科、小児科
院内標榜：総合診療科（内科、外科、小児科）
- 病床数 2床（平成28年6月24日～）



実習前の疑問

- * 地域医療において大切なものは？
- * 地域医療の現状とは？

地域医療についてのお話

- 廣内先生の長年の経験に基づいて、地域医療についての様々なお話を聞かせていただいた。患者との信頼関係や後方病院との連携が地域医療において重要だということを教わった。
- 一人の医師では診られる病気に限界があり、医師不足に悩まされる僻地では一つの病院で全ての病気に対応することは難しいということを教わった。

実習内容

- * オリエンテーション(高野山総合診療所について)
- * 訪問看護
- * 診療の見学
- * 検査室の見学
- * レントゲン室の見学
- * 地域医療についてのお話

実習前の疑問に対する見解

地域医療において大切なものは？
患者との信頼関係や他職種及び後方病院との連携が地域医療において重要である。

地域医療の現状とは？
医師不足、及び診療科に対する医師の偏在化が地域医療の現場には顕著に見られる。

診療の見学

廣内先生、中村先生の診察の現場を見学させていただきました。



謝辞

今回の実習でお世話になった廣内先生はじめ高野山総合診療所の方々、本当にありがとうございました。

Comment

- 院長先生から診察において大切なこと、患者さんには地域住民だけでなく高野山に訪れる観光客も含まれていることなどをお話していただき、楽しんで勉強できた。
- 患者さんとの信頼関係や他職種、他病院との連携が地域医療においてとても重要であることを教わった。
- 将来、働くことになるであろう病院を実際に見ることができて、非常に勉強になった。

2

国保野上厚生総合病院



■ 位 置 和歌山県海草郡紀美野町小畑198番地

■ 診療科目 内科、外科、整形外科、婦人科、神経精神科、眼科
耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科

■ 病 床 数 一般病棟 100床

■ 療養病棟 54床

■ 精神病棟 100床



実習スケジュール

- 8月18日
午前:病院見学
午後:病院周辺見学
- 8月19日
2グループに分かれ、
訪問看護見学
デイケア見学

訪問看護の様子



施設・設備見学



ケアマネージャーの役割

- 患者さんの要望に沿ったプランを計画する

気づいた点

- 患者さんと丁寧に接する。
- 地域包括ケアの一つの要となる。

訪問看護

- 24時間利用可能な自費の訪問看護サービス

気づいた点

- 家庭の状況や病気の経過に合わせた細やかな対応が可能
- 現場の看護師による判断が必要

まとめ

- へき地での、医療人の連携の重要性を実感
- へき地中核病院として地域住民を支えるとともに、常に最新の医療のアップデートをおこなう、職員の姿勢
- デイケアや在宅訪問看護、往診など幅広い視点から医療を提供する

↓
変化する社会への対応

Comment

- 地域の中核病院としての役割を担う病院の様子を見学、体験することができ、病院内の設備を始め、全体の雰囲気がよく分かった。
- へき地中核病院としての病院の在り方、医師個人のキャリアのお話などの体験談を聞かせていただき、勉強になった。
- 訪問看護にも同行させていただき、看護師の方々のお話もたくさん聞くことができたので、改めて地域医療について考えるよい機会になった。

3

にしもと内科クリニック



■位 置 和歌山県海草郡紀美野町吉野46番地2

■診療科目 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、アレルギー科



スケジュール

8月18日(木) 午前 外来見学
午後 結核審査会

8月19日(金) 午前 外来見学
午後 訪問診療・美里園見学

開業医の業務

外来だけでなく、他にも多くの業務がある。

- 訪問診療
- 校医
- 検診
- 予防接種
- 審査会(結核審査会、介護認定審査会etc)
- 産業医



まとめ

- * 専門に関わらず、何科であろうと診察しなければならぬ(なんでも内科)
- * 地域に根ざし、医療を行う必要がある。
- * 代わりがない

訪問診療



謝辞

* 夏期研修を進めるにあたり、ご指導いただいたにしもと内科クリニック院長西本先生に感謝いたします。
また、日常において多くの知識や示唆をいただいたにしもと内科クリニックのスタッフの皆様にも感謝いたします。

Comment

- 病棟実習では出来ないことをたくさんさせていただき、非常にためになる実習だった。
- 専門に関わらず、何科であろうと診察しなければならぬ(なんでも内科)ということを実感した。

4

国吉診療所・長谷毛原診療所



国吉診療所

■位置 和歌山県海草郡紀美野町田63番地

■診療科目 内科、外科

長谷毛原診療所



■位置 和歌山県海草郡紀美野町毛原宮254番地5

■診療科目 内科、外科

実習スケジュール

× 一日目
小中学校訪問
手技の練習
往診



× 二日目
診療所での診察
往診

診療所に求められること

- × 診療所で出来ること、出来ないことの判断や緊急かどうか判断し治療を行う
- × 一人一人のニーズに合わせた医療
- × 子供から高齢者まで幅広い医療
- × 医療行為にとどまらない地域の方々との関わり合い

往診



二日間の実習を終えて

- × 問診、血圧測定、採血、膝関節注射、トリガーポイント注射、薬剤の分包など大学では経験できないことをさせていただき、実際の地域での診療を実感できた
- × 地域だからといって医療が遅れている訳ではなく、自分の意識次第で最善の医療を行える
- × 地域の方々の温かさ、先生や看護師さんとの信頼関係を感じた

診療所にて



謝辞

- × 岡地先生をはじめ、看護師の榎本さん、事務員さん、実習を快く受け入れてくださった地域の皆さまに深く感謝いたします。



Comment

- 臨床実習ではなかなかさせていただけないことを経験させていただき、また、医療行為を行うときも快く承諾してくださり、地域の方の温かさを実感した。
- 普段の勉強ではできないことを経験し、とても勉強になり、とても楽しい実習だった。
- 患者さんに対して「ありがとう」と言っているのが印象的で、患者さんに教えていただいているというのを強く思った。

5

川上診療所・寒川診療所

川上診療所



■位 置 和歌山県日高郡日高川町川原河264

■診療科目 内科、小児科、外科

寒川診療所



■位 置 和歌山県日高郡日高川町寒川293番地

■診療科目 内科、小児科

実習スケジュール

▶ 8月18日

午前：川上診療所で外来見学

お昼：薬膳

午後：往診見学、他の診療所見学、

寒川診療所で外来・往診見学

▶ 8月19日

午前：寒川診療所で外来見学



川上診療所（往診）



川上診療所



診療科
・内科
・小児科
・外科



寒川診療所



診療科
・内科
・小児科

川上診療所（午前外来）

- ▶ DM
- ▶ 高血圧
- ▶ 左上腕骨骨折
- ▶ DM
- ▶ 臀部皮膚トラブル
- ▶ 高血圧
- ▶ 胆石
- ▶ 胆石
- ▶ 高血圧・高脂血症・高尿酸血症
- ▶ 高血圧、C型肝炎
- ▶ CKD、高血圧、下肢静脈瘤
- ▶ 蜂さされ

血圧測定、採血を
やらせていただきました！

寒川診療所



Comment

- 地域＝田舎ではなく、人の集団・コミュニティを診るのが地域医療だという言葉も改めて考えさせられた。
- 加齢による悪化は避けることはできないが、年齢ごとにあった健康を保つことがとても大切であるということが印象的だった。
- 1人でやらなければならない＝何でもできるということは、不安な面もあるが、検査など、自分で追究することが出来るという面で利点であると感じた。

6

大塔三川診療所・大塔富里診療所



大塔三川診療所

■位 置 和歌山県田辺市合川678-3

■診療科目 内科、外科、小児科

大塔富里診療所



■位 置 和歌山県田辺市下川下930

■診療科目 内科、外科、小児科



実習スケジュール

- ・8月18日(木)
- ・大塔三川診療所にて外来実習

- ・8月19日(金)
- ・大塔富里診療所にて外来実習

富里、三川診療所でできる検査

1. 一般検尿
2. 妊娠反応
3. 血液検査(血糖値のみ院内、その他すべて外注)
4. 便ヘモグロビン検査
5. インフルエンザ抗原検査・溶連菌抗原検査
6. 心電図
7. 超音波検査
8. X線検査
9. 上部消化管内視鏡

大塔三川診療所

診療科目

- ・内科
- ・外科
- ・小児科

1日平均受診者数:36人
年間延べ受診者数:4201人
診療日数:117日

診療日

- ・月、木曜日
9~12時
13~17時
- ・隔週水曜日
9~12時
場合に応じて往診



地域の医師としての仕事

- ・外来診療(診察、検査、治療)
- ・他の医療機関への紹介、診療予約
- ・在宅医療(主に寝たきりの患者さん宅への定期的な訪問、往診)
- ・予防接種
- ・介護保険関係(介護保険主治医意見書作成)
- ・障害者自立支援法関係(医師意見書の作成)
などなど、、、

大塔富里診療所

診療科目

- ・内科
- ・外科
- ・小児科

1日平均受診者数:35人
年間延べ受診者数:3953人
診療日数:112日

診療日

- ・火、金曜日
9~12時
13~17時
- ・隔週水曜日
9~12時
場合に応じて往診



Comment

- 普段の実習ではできないことが数多く体験でき、非常に有意義な実習だった。
- 講義だけでなく、かなり幅広く手技をさせていただき、とても刺激のある充実した実習を行うことができた。
- 診療所で実際に働くイメージが少しできた。
- 軽症疾患と思っても疑うことが大切だと教えていただき、地域医療では、重篤になりうる疾患であるかの判断をする能力が必要であると思った。

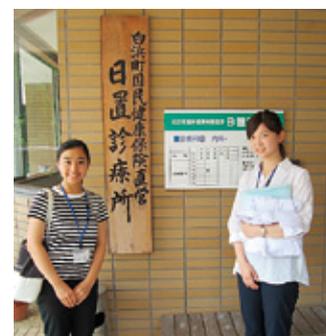
7 白浜はまゆう病院



西富田クリニック



鮎川診療所



日置診療所

■ 位 置 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

■ 診療科目 内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、リウマチ科、リハビリテーション科、呼吸器科、循環器科、消化器科、神経内科、婦人科、泌尿器科、麻酔科、脳神経外科、アレルギー科、心療内科（休診中）

■ 病床数

一般病棟	82床
回復期リハ病棟	48床
地域包括ケア病棟	28床
医療療養病棟	50床
介護療養病棟	50床

1日目

- ・診療所案内
西高田クリニックー鮎川診療所ー白濱診療所
- ・訪問看護・訪問リハビリ
訪問看護ステーション たんぽぽ
- ・医局会
- ・院長先生と夕食

鮎川診療所 診療風景 vol.2



訪問看護 訪問リハビリ



実習を終えて 学んだこと

- ・医師と患者との信頼関係が必要不可欠である。
- ・患者の事情を把握したうえで適切な医療の提供が必要。(送迎の必要性の有無、家庭事情、etc...)
- ・診療所では特定の科にこだわらず幅広い知識が求められる。
- ・診療所と地域基幹病院との連携・情報共有の必要性。

医局会



謝辞

夏期研修を進めるにあたり、
ご指導いただいた白浜はまゆう病院の
谷口院長先生をはじめとする先生方、
また今回の実習をサポートして頂いた
すべての皆様に感謝いたします。

2日目

- ・診療所研修
美久・玉井ー鮎川診療所
恩地ー川添診療所
- ・白浜はまゆう病院見学



Comment

- お年寄りを中心とした様々な患者さんとの交流はとても勉強になり、問診を実際にさせていただき、非常に良い経験になった。
- 診療所での実習は、患者さんと医師との距離が近く、地域医療に従事する医師として身につかなければならないものを掴めたように思う。
- 医師と患者さんの距離が近いことにより、その人にあった適切な診療ができる。

8

国保すさみ病院



■位 置 和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見2380番地

■診療科目 内科、外科、リハビリテーション科

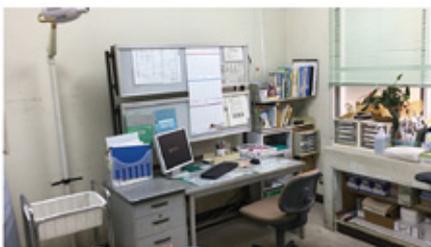
■病 床 数 一般病床 48床
療養病床 24床 (医療型6床、介護型18床)



実習1日目AM、2日目AM

外来(内科・外科)見学

糖尿病
 高血圧症
 腰部脊柱管狭窄症
 COPD
 発作性上室性頻脈
 肋間神経痛
 大動脈弁狭窄症
 坐骨神経痛
 リンパ浮腫
 変形性膝関節症
 心房細動
 脊椎圧迫骨折
 関節リウマチ
 深部静脈血栓症
 気管支喘息
 急性腎盂腎炎
 転移性肝癌
 褥瘡 etc.



実習1日目PM

佐本診療所



待合



薬剤室



診察室



実習1日目AM

上部内視鏡検査見学



国保すさみ病院の取り組み

- ① 予防医療を徹底する
- ② 住民の協力を得る
- ③ 多職種間の情報共有と連携を行う
- ④ 在宅医療の推進
- ⑤ スタッフの確保
- ⑥ 行政の支援

健康
 寿命

実習1日目PM

佐本診療所



(外観)



結語

「病気を診るのではなく、人を診る」
 ことに加えて、「環境」も考えることが
 地域(community)医療では求められる。

Comment

- 今まで学んできた知識の利用法などを学べたと思うし、まだまだ勉強が足りず、もっとやらないとダメだなと強く実感した。
- 「病気ではなく、人を診る」ことは、地域医療では必須であるが、それに加え、住民の生活環境や地域の特性など「環境」も考える必要があると感じた。
- 外来は、内科と外科と分かれているが、高齢者の患者さんが多く、内科の外来でも外科疾患、外科の外来でも内科疾患を診ていたのが印象的で、より一層、「人を診る」ということが分かった。
- 診療所・病院間だけでなく、小中学校や行政との連携も大切であることを教えていただいた。

9

那智勝浦町立温泉病院



■ **位 置** 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満483番地1

■ **診療科目** 内科、整形外科、リハビリテーション科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、糖尿病内科、循環器内科、放射線科、外科（休診中）、婦人科（休診中）

■ **病 床 数** 一般病床 90床
療養病床 60床



病院研修スケジュール

8月18日

- 9:00～ 院長面談
- 9:30～ 初診・救急・胃カメラ
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 各部署見学・病院紹介
- 13:30～ 病棟実習・救急
- 14:30～ リハビリ見学
カンファレンス参加
- 16:00～ まとめ

病院研修スケジュール

8月19日

- 9:00～ 地域・勝浦の現状
- 10:00～ 初診・救急
- 12:00～ 昼食
スライド作成
- 14:30～ 病院出発

施設



カンファレンス



病院の目指すもの

- 急性期の患者さんの治療というよりも、リハビリなどを進めて患者さんが家に帰れるように、治療後の回復を手助けする
- 移転後、在宅医療にも力を入れたいと考えている。しかし、現状ではスタッフの不足により実現のめどがたっていない。

地域医療で求められるもの

- 地域では専門性ではなく幅広い知識が求められている。
- スペシャリストより、ジェネラリスト。
- 教科書に書いてある典型例はまれ。教科書に載っていない症例にどう対応するかが重要である。
- どんな患者でも受け入れ最大限の努力をする。

Comment

- 将来自分が医師として働くというビジョンが、少し明確なものとして見えたと思う。
- 先生同士がとても仲良く、温かい病院だと思った。
- 地域医療に主体的に関われるようになり、より地域医療に興味を湧いた。
- たくさん見学でき、先生から説明を聞く機会も多くとても勉強になった。

病院見学

和歌山県立医科大学医学部地域医療枠 1～3年生

平成28年8月19日（金）、地域医療枠1～3年生が県内紀南地域の病院を巡る病院見学に参加しました。それぞれの病院では、病院の概要説明や各医療圏での病院の役割、院長先生のお話などを聞き、院内見学をしました。

■病院見学 参加者名簿

学年	氏名	学年	氏名
3年生	貝持 裕太	2年生	大道 彩夏
3年生	金光 達也	2年生	塩谷 一樹
3年生	川端 公貴	2年生	仁木 龍登
3年生	坂野 真美	2年生	曲谷 玲奈
3年生	立石 華穂	2年生	松尾 薫
3年生	林 菜摘	1年生	東 丈
3年生	森 佑熙	1年生	出崎 祐気
2年生	井上 育美	1年生	西平 大輝



1

新宮市立医療センター



- 位置 和歌山県新宮市蜂伏18-7
- 診療科目 内科、腎臓内科、循環器内科、外科、神経内科、脳神経外科、泌尿器科、呼吸器外科・心臓血管外科、整形外科、小児科、産婦人科、皮膚科、眼科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科
- 病床数 一般病床 300床
2類感染病床 4床



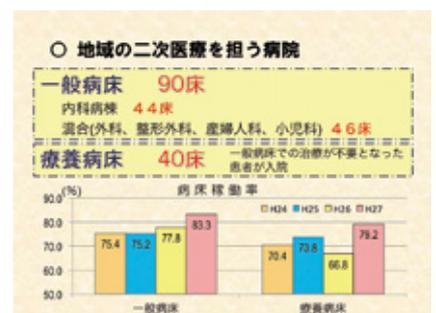
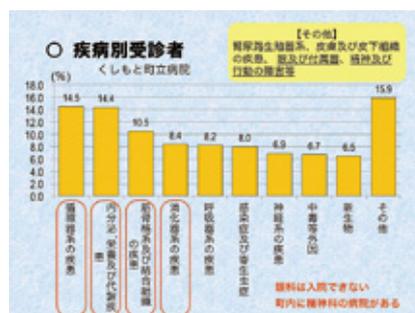
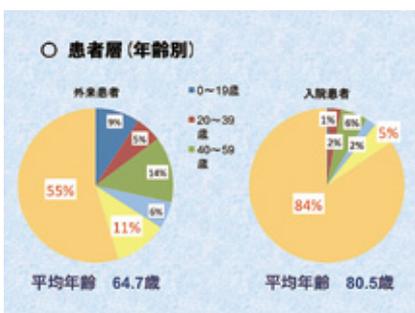
2 くしもと町立病院



■ 位置 和歌山県東牟婁郡串本町
サンゴ台691番地7

■ 診療科目 内科、外科、整形外科、産婦人科、
小児科・小児科専門外来、眼科、
耳鼻咽喉科、泌尿器科、人工透析、
脳神経外科、
外科専門外来（心臓血管外科）

■ 病床数 一般病床 90床
療養病床 40床



見学アンケートより

和歌山市から非常に遠かったが、どちらの病院も予想以上に大きく綺麗で、田舎の病院であるが、医療機器も充実しているように感じた。

新しく綺麗な病院を見ることができたが、古い病院も見てみたいと思った。

病院やその周辺の様子を知るだけでなく、地域医療の現状と課題も教えていただき、理解を深めることができた。

新宮市立医療センターでは三重や奈良からも患者さんが来ており、それぞれの異なる地域性を知り、他県の病院とも連携することが大切だと思った。

普段行かない病院を見学できた良い機会だった。

地域包括ケア病棟が新設され、在宅に重点をおいているのが分かった。

各病院の地域での役割がよく分かり、地域の病院ではどのような患者さんが多いのか、また医師として何をしなければならぬのかを知ることができた。

くしもと町立病院は、高台に建て直すことで、津波がきても機能できるように配慮されていた。

講演会 感想

地域医療に携わる医師の実際の仕事を知ることができて勉強になりました。

地域医療に従事している先生のお話を聞くことができ、地域で働く医師の方の仕事の重みの一端を感じることができたと思います。

高齢者の方は多数の疾患を併せ持つので、“病”を診るのではなく“病をもった人”の全体像を診る必要があるというお話にとっても納得しました。

症例なども交えながら地域医療についての様々な話を伺い、実際にへき地の診療所で働くということがどういうことなのか想像することができました。

在宅医療が推進されていく中で、患者さんのおかれている環境などを知り、その人に合った医療を提供していくことが大切であると思いました。

予防から看取りまですべてを見る、子どもから高齢者まで診ることが大切だと感じました。

中川先生が、いかに丁寧に患者さんのことを見て、話を聞き、真摯に向き合っているかが良く分かりました。

在宅医療や自宅での看取りについて、チーム医療がとても大切であると感じました。

地域での診療において必要な心構えを学ぶことができた。

交流会



交流会 感想

- 将来、同じようなところで働く自治医大の方や医師3年目の中核病院で働かれている先生と話ができて、仲良くさせていただけてとても良かった。
- 地域医療枠1期生の先生方が来てくださり、実際の現状や勤務の様子などを聞かせていただけてとても参考になった。
- 食事がとても美味しかったし、学生間でだいぶ距離が縮まったように思う。
- 交流会に来ていただいた先生方の貴重なお話も聞くことができ、自治医大の学生とも交流できて良かった。
- 将来の人間関係もあるが、現在の交友を深めるうえでとても貴重な機会だった。



わかやま新報に掲載されました

(平成28年7月19日第3種郵便物認可) (日刊) わかやま新報 20'

地域医療の現場学ぶ 医大生が県内9カ所で研修

地域医療を志す医学生が、実際にへき地の医療機関で実習する本年度の「病院研修」が18、20日、県内9カ所の病院と診療所で行われ、県立医科大学の地域医療科、自治医科大学、近畿大学医学部の県地域枠の学生43人が地域医療の現場で学んだ。

医療機関が行政を支える地域医療体介護施設など連携の構築に向け、県立医科大学は平成20年(紀美野町小畑)で「地域医療の研修を受ける学生ら(国保野上厚生総合病院)」

度から、地域医療科は、4人の学生が病として地域医療に携ったの設備を習得し、わりへき地の病院な、会議を行い、地域医療で勤務する医師を養成するコースを設け、訪問看護やケア置。同研修は平成23年度から同医大が実施し、平成25年度から県出身の自治医大生、27年度から近畿大学医学部県地域枠と、体や交通の事情で病院に行きたくても行けない人が増えていることが分かった。実情を知り、地域医療について考える良い機会になった。「自治医大5回生の湖田祐里さん(23)」は「地域医療の連携について大学で聞いたことを実際に学べて、とても良い経験になっている。今後は患者さんの話を聞き、「どうしていいか」を一緒に考えられるようになりたい」と研修を通して刺激を受けた様子だった。

研修ではこの他、地域の医師に求められる知識や技能、態度などについて、講演会やグループワークを通して学んだ。



グループワーク

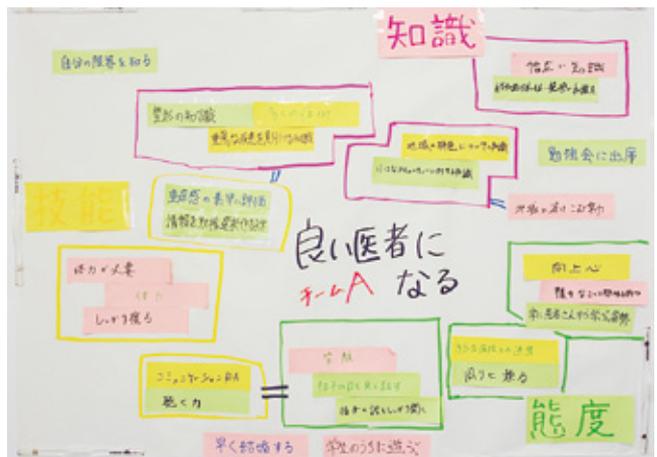
テーマ：地域の医師に必要な知識・技能・態度

研修最終日は、地域医療枠1期生及び自治医科大学37期生の先生を講師として、地域医療枠1～6年生（31名）が「地域の医師に必要な知識・技能・態度」をテーマにグループワークを行いました。



A班

医師	川端 大輝	3年生	川端 公貴
5年生	野田 幸治	2年生	松尾 薫
4年生	兼久 亮	1年生	東 丈



B班

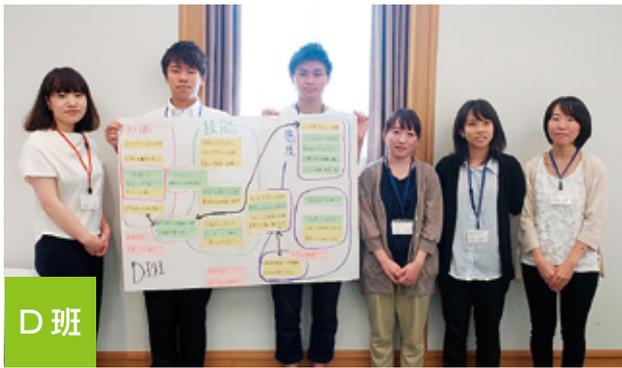
医師	切土 雅子	4年生	谷河 育朗
5年生	石亀 真子	3年生	串 雅紀
5年生	深海 三恵	2年生	井上 育美



C班

医師	出口 蓉子	3年生	坂野 真美
5年生	奥村 晃平	2年生	大道 彩夏
4年生	西村 美咲	1年生	出崎 祐気

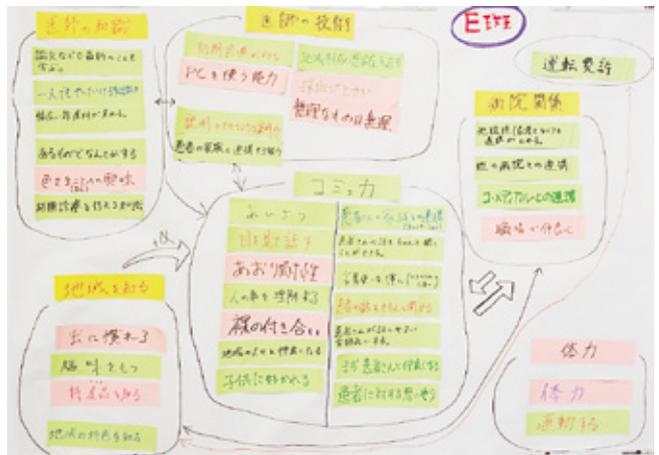




醫師	鐵尾 真美	4年生	宮井 優
5年生	川村 晃大	3年生	立石 華穂
4年生	今地 美帆子	2年生	塩谷 一樹



醫師	佐藤 史崇	3年生	林 菜摘
5年生	草野 恵利加	2年生	仁木 龍登
4年生	大橋 豪	1年生	西平 大輝
3年生	貝持 裕太		



醫師	佐藤 知香	3年生	金光 達也
6年生	濱 裕也	3年生	森 佑熙
4年生	恩地 菊乃	2年生	曲谷 玲奈



実習発表会

国保野上厚生総合病院の発表



国吉診療所・長谷毛原診療所の発表



大塔三川診療所・大塔富里診療所の発表



国保すさみ病院の発表



発表会 感想

- 各病院・診療所での実際の様子について聞くことができ、今後の働くことの具体的なイメージをつくる助けになった。
- 現場の雰囲気を見ることができて良かった。
- 実習先の病院や診療所について、場所も含めてどのような環境で診療しているのかが分かった。
- 様々な病院・診療所の様子や取り組みを知ることができた。
- 知識が少なくても分かりやすく聞くことができた。
- 自分の行っていない病院・診療所について知ることができ、他の人の意見をいろいろ聞くことができて新鮮だった。

白浜はまゆう病院の発表



那智勝浦町立温泉病院の発表



川上診療所・寒川診療所の発表



大塔三川診療所／大塔富里診療所 所長 柳川卓弥 先生のコメント

非常によく発表できていた。

今はまだ、具体的な知識や経験がないまま、知識だけを詰め込んでいかなければならないが、実習など実際に経験することで、将来のイメージが出来ると思う。

手技をする前の練習だけではなく手技の後にも練習や勉強することで、より深く理解することができる。

経験を伴った勉強は、必ず身につく、上達するので、是非学生の頃からやってほしい。

学生レポート



自治医科大学医学部1年生 額田 洋平・中尾 光

平成28年度の夏期研修として高野町立高野山総合診療所に行かせていただきました。廣内先生をはじめとした高野山総合診療所の医療チーム、及び高野町の地域住民の方々に地域医療について勉強させていただきました。

診療所では、訪問看護の付き添い、診察の見学、及び各検査器具の見学をさせていただきました。訪問看護の付き添いでは、看護師の方々が患者様の自宅に訪問され非常に親身になって、世間話なども織り交ぜながら患者様の健康状態を確認していく光景が大変印象的で、地域の人々に寄り添う医療の一端を体感させていただきました。診察の見学では、医師の方々がパソコンばかりを見るのではなく患者様の方をきちんと見た診察、及び患者様に直接触れることで体の調子を推察する触診を頻繁にされており、患者様との距離が非常に近い医療だなと感じました。検査室の見学では、血液検査や尿検査、レントゲン、エコーやCTといった機器を見させていただきました。想像していたよりも充実した検査器具に驚き、地域住民を守るという心意気がひしひしと感じられました。

今回の研修では、「地域に根ざした医療」というものを自分の肌で感じることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後になりましたが、今回の研修に関わったいただいたすべての方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

自治医科大学医学部3年生 山家 一葉

国保すさみ病院で実習をさせていただきました。

外来を見学していると、糖尿病、高血圧、脂質異常症、リンパ浮腫、心房細動、脊椎圧迫骨折、関節リウマチなど、本当に様々な疾患の方がいらっしゃいました。内科と外科に分かれて診察を行っていますが、外科に来た方でも内科の疾患を患っていたり、院長先生も日によって内科と外科の両方を診られていたりして、明確な区別は無いように思いました。大学病院では自分の専門の部分しか診ませんが、こういった地域の小さな病院では一人の患者さんのすべてを診なければならず、非常に豊富な知識が必要であると感じました。

国保すさみ病院から車で30分ほどの所にある佐本診療所にも連れて行っていただきましたが、週一回の診察日には90歳の方も30分かけて歩いてくるなど、待合室は和気あいあいとした雰囲気があり、みんなで集まる場所としても機能しているのではないかと思います。

また、国保すさみ病院では院長先生をはじめとして様々な取り組みを行っており、例えば、すさみ町の広報で健康情報の発信や小中学生に対して喫煙の害についての出張講義のほか、医師が少ない病院では当直明けの医師が次の日も診療を行わなければならないこともあるため、休日や時間外の不要不急の受診は負担になり、医師だけでなく、患者にとっても不利益が生じる可能性があるため、できるだけ診療時間内に受診してもらえるように協力を仰いでいるそうです。

これらの取り組みにより健康寿命も延び、すさみ町の高齢化率は高齢化率の高い和歌山県でも3番目に高く、43.8%になっています。これは2055年の日本の推計高齢化率と等しく、すさみ町は将来の日本の縮図と言えるのではないのでしょうか。よって、これらの取り組みは将来日本全体でも見習い行われるべきだと思います。

実習をとおして、「病気を診るのではなく、人を診る」ことに加えて、「環境」も考えることが地域医療では求められる、と改めて考えさせられました。





和歌山県立医科大学医学部地域医療枠 1 年生 出崎 祐気

1 日目は、新宮市立医療センターと、くしもと町立病院の病院見学をさせていただきました。この 2 病院はともに新宮医療圏に属し、それぞれの病院で特色とする機能があって、新宮市立医療センターは圏域の中核病院として急性期に特化しており、最新の医療機器も多く導入されていました。また、くしもと町立病院は地域の中核病院として二次救急医療を提供しているそうです。病院見学後は、川添診療所の中川武正先生の講演、地域医療枠出身の研修医の先生方や、地域医療枠の先輩方、自治医科大学の学生たちとの交流会、2 日目には、グループワークと 4、5 年生による実習発表会があり、地域医療やそれに携わる医師について考える機会が多くあって、有意義な時間を過ごすことができました。

今回の研修によって、将来勤務する可能性のある病院の環境や、実際に地域で働く医師の業務内容を知ることができ、目指すべき医師の理想像を思い浮かべることができました。

和歌山県立医科大学医学部地域医療枠 2 年生 塩谷 一樹

今年の病院研修では、新宮市立医療センター、くしもと町立病院を見学させていただき、その後、川添診療所名誉所長の中川先生にご講演いただきました。

新宮市立医療センターは、1 年の時に early exposure で行かせていただいたのですが、2 年になり、基礎医学を学んでいる今改めて見ると、当時とは異なった目線で見学ができ、当時より興味深いものでした。くしもと町立病院では、ご説明の際の、近畿大学の医師の一本化というシステムに驚きました。医師確保するための手段としての画期的な方法だと思います。その後の講演会を始め、各病院でのお話や食事の際の先生方からのお話から、よく上がっていた話題が 2025 年問題に関する話だと思います。社会の変化に伴い、医師や病院も変化しなければならないという、社会的な一面を垣間見ることができました。二日目のグループワークから、上回生をはじめ、地域医療枠 1 期生の先生や自治医科大学卒の先生の意見など、ひとつのことを多視点から見ることができ、とても勉強になりました。

今年の研修で、将来自分が勤めるかもしれない地域に赴き、病院を見学できたことも大変いい経験になりましたが、この研修が泊まりであり寝食を共にしたことで、和医大の学生間だけでなく、自治医大の人とも親しくなれたことが、なんといっても一番の収穫だと思っています。短い間でしたが、貴重な経験をさせていただき、本当に感謝しています。



和歌山県立医科大学医学部地域医療枠3年生 金光 達也

今年の地域医療枠の病院見学では、新宮市立医療センターと、くしもと町立病院に行かせていただきました。

この2つの病院はどちらも新宮医療圏の地域医療を担う地域中核病院で、地域の二次医療や二次救急、災害支援施設などとしての重要な働きを担っていました。そして医療過疎の現状に対して、医師確保やドクターヘリの活用、三重紀南地域間の連携などの様々な対策についてのお話も伺うことが出来ました。

そして豊富な症例数により研修医時代から主治医として担当患者をもち、様々な経験を積む事が出来るという、我々地域医療枠学生として将来性を決める指標となるような環境も、生で感じる事が出来ました。

今回の研修で見たもの、聞いたこと、そして同じ地域医療枠の先輩方や先生方との交流を糧とし、これから地域医療を担う医師の一端となれるようにこの経験を活かしていきたいと強く感じました。



和歌山県立医科大学医学部地域医療枠4年生 恩地 菊乃

私は、今回白浜はまゆう病院で実習を行わせて頂きました。

まず初日は、白浜はまゆう病院と提携している診療所を回らせて頂きました。それぞれの診療所がはまゆう病院から遠かったのも、一つ一つは小さくともその地域の住民の方にとってはなくてはならない存在なんだということが分かりました。また訪問看護では寝たきりの人の看護だけではなく、一人暮らしの人の心のケアなど幅広いニーズに対応していると感じました。二日目の診療所実習では実際に患者さんに問診をとらせて頂くという貴重な体験をさせて頂きました。患者さんと世間話を含めた会話の中でいかに適切な質問をして、病状を把握したり、またそれに対する不安を拭うことが出来るかが大切だということが分かりました。今回の実習を通して地域医療の重要性を肌で感じる事が出来たと思います。ありがとうございました。



和歌山県立医科大学医学部地域医療枠5年生 石亀 真子

今回、紀美野町にある国吉・長谷毛原診療所で8月18、19日の2日間実習をさせて頂きました。5年生になり大学で臨床実習をさせて頂いていますが、診療所での実習は初めてでした。診療所では患者さん一人ひとりのニーズにあった医療を行っており、柔軟な対応が印象的でした。また、子供から高齢者の方まで幅広く診療を行っていて総合的な知識の大切さを実感しました。今回、往診や診療所で患者さんに対して問診や採血を実際にさせて頂いたのですが、地域の方が実習に快諾していただけたのは先生が10年間で築いてきた地域の方々との強い信頼関係があるからだと感じました。実習をとおして、将来地域に携わってうえで大切な視点に気づくことができました。今回の経験を元に将来のために今できることを明確にし、幅広い知識、確かな技術をつけていきたいと思いました。実習を全面的にサポートしてくださった岡地先生、看護師さん、地域の方々へ感謝します。

実習先の先生より

- 一社会人として姿勢、挨拶、態度などは問題なく、意欲的な実習態度が感じられた。
- 明るく活発で、真面目に実習に取り組んでいた。
- 言葉でも、表情でも人と関わるのが上手く、見習うところがあった。
- 学生らしい素直さと旺盛な好奇心をもって実習してくれた。
- 学ぼうとする姿勢がみられた。
- 当院のスタッフ、患者さんに対しても挨拶がきちんとできていた。
- 短時間だったが、へき地医療の一端は理解できたのではないかと思う。

〈学生アンケートより〉

どんな医師になりたいか

- 地域の方々から気軽に健康面での相談をしに来てくれるような医師。
- 患者さんの要望に添って満足度の高い医療を提供出来るような医師。
- 医療に関わる様々な職種の方々とうまく連携し、地域に求められていることを正しく認識し実行できる医師。
- 何か困っている、何か不安になっている方々に寄り添い、「先生がいてくれて良かった。」と頼りにされるような医師。
- 地域の病院で、患者さんに寄り添え、すべての医師やその他の職種の人たちにきちんと敬意を払えるようになりたい。
- 人をみれる医師。どんなところでも、その地域をしっかりと見て、包括ケアをしていきたい。
- 適切な判断ができ、温かみのある医師。



引率者からのコメント

和歌山県立医科大学地域医療支援センター
副センター長
島 幸宏



今年で5回目となりました病院研修が終了しました。ご協力頂きました病院・診療所の先生・看護師さん・事務の皆様には厚く御礼申し上げます。

本学医学部地域医療枠1～3年生は新宮保健医療圏（東牟婁郡・新宮市）にある2つの病院を見学してもらいました。新宮市立医療センターは地域医療枠卒業生も勤務する病院であり長い時間をかけて学生を見学させて頂きました。もう1施設は町立くしもと病院にお世話になりました。和歌山医大とは繋がり少ない病院ですが地域医療枠卒業生の勤務するであろう病院と同規模であることから見学をお願いいたしました。

そして本学医学部地域医療枠4年生には主に小病院に、5年生には主に診療所に自治医大の学生とともに研修に行ってもらいました。勤務するかもしれない小病院、小病院に患者さんをお願いする診療所という立場を垣間見てもらえたでしょうか？今後、学生の皆さんが身につけるべき知識・技術の参考になることが多かったはずです。

夜の交流会から地域医療枠卒業生・自治医大卒業生が参加してくれましたし、3日目の発表会には大塔三川診療所・大塔富里診療所の柳川先生が飛び入りで参加くださり、実りのある、楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

将来、同じような環境で働く自治医大学生、和歌山医大の先輩・後輩との親睦のきっかけになってくれたと信じています。

これを糧に皆さんが地域を診る医師になってくれることを期待しています。





ホームページ・ <http://www.cmsc.jp>



Facebook・ <http://ja-jp.facebook.com/w.CMSC>

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター





和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509
和歌山市紀三井寺 811 番地 1
TEL : 073-441-0845
FAX : 073-441-0846

■ アクセスマップ



- JR紀三井寺駅 → 徒歩 (約10分)
- JR和歌山駅 → バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 → バス・タクシー
- JR和歌山駅前
1番のりば「医大病院」行 約25分
2番のりば「医大病院」行 約30分

■ センター配置図



- 南海和歌山市駅前
1番のりば「医大病院」行 約30分
8番のりば「医大病院」行 約30分
9番のりば「医大病院」行 約30分

平成 29 年 1 月 発行

発行 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長・教授
和歌山県地域医療支援センター センター長

上 野 雅 巳

